

令和8年度 矢巾東小学校 教職員 働き方改革アクションプラン

矢巾東小学校では「矢巾町教職員働き方改革プランに」に基づき、以下の取組により「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状
<ul style="list-style-type: none"> 本校教職員の昨年度の勤務時間外状況：月平均時間数は約35時間であり、80時間を超えた教職員は延べ人数2人である。 80時間を超える時間外勤務の主な要因は、年度始め、授業実践交流会の業務である。 45時間を超える教職員は月平均 5.5人で固定化している。
2 目指す姿
<p>【管理職】</p> <ul style="list-style-type: none"> 率先垂範を基本とし、自ら業務軽減と時間外在校時間の削減を実践する。 常に教職員の業務量や負担感を把握し、必要に応じて業務の平準化と面談を実施する。 学校全体の業務量軽減やICTを活用した業務の効率化を推進する。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の優先順位の確認やICTの有効活用を通して、効率的に業務に取り組む。 「ワーク・ライフ・バランス」を意識し、いきいきとやりがいをもって児童に向き合う。

3 取組内容	
(1) 教職員の負担軽減	(2) 教職員の健康確保等
<ul style="list-style-type: none"> 行事への取組のスリム化と学年経営の効率化を通して、時間外勤務時間の削減を図ります。 勤務時間外の会議（PTA関係、学校運営協議会等）の回数削減と時間短縮を行い、負担軽減を図ります。 ノー残業デーを毎週水曜日に設定し確実に実施できるよう、業務推進の調整を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断、勤務時間外状況等の客観的データに基づき、管理職は教職員への面談を適宜実施していきます。 各教職員は学校業務と家庭やプライベートのワーク・ライフ・バランスを常に意識し、個々人のペースに合わせた【休み方改革】を実践していきます。 「働きやすい職場」を目指し、環境改善に全職員で取り組んでいきます。
4 目標	
<ul style="list-style-type: none"> 勤務時間外状況において、月80時間超過の教職員 年間で0.1%以下（月当たり0.2人以下） ノー残業デーを毎週水曜日に設定。95%の実施（全教職員） 時間外在校時間が月85時間以上の教職員0%の実施（全教職員） 	